

JIA 建築家大会2014岡山

JIA NATIONAL CONVENTION
OKAYAMA
2014

境界を越えて

—総合化に挑む建築家の使命—



[開催期間]

2014 9/23 tue - 28 sun

[主 催]

公益社団法人 日本建築家協会

[後 援]

国土交通省・岡山県・岡山市・倉敷市・岡山商工会議所・倉敷商工会議所・公益社団法人日本建築士会連合会・一般社団法人日本建築士事務所協会連合会・一般社団法人日本建築学会・一般社団法人日本建設業連合会・一般社団法人日本建築構造技術者協会・一般社団法人岡山県建築士会・一般社団法人岡山県建築士事務所協会・一般社団法人日本建築学会中国支部岡山支所・岡山建築設計クラブ・一般社団法人岡山県設備設計事務所協会・一般社団法人日本建築協会中国支部・一般社団法人日本建築構造技術者協会中国支部・公益社団法人日本建築精算協会中国四国支部・一般社団法人日本商環境デザイン協会中国支部・中国インテリアプランナー協会・山陽新聞社・公益財团法人大原美術館・NHK岡山放送局・RSK山陽放送・OHK岡山放送・RNC西日本放送・KSB瀬戸内海放送・TSCテレビせとうち・株式会社中建日報社・株式会社津通新聞社・株式会社建設日報・株式会社山陽建設通信社・公益社団法人おかやま観光コンベンション協会(順不同)

greeting

ご挨拶

境界を越えて

進歩を至上とした近代思想は、合理的効率的な処理手段である要「場」と「時」と「物」と「人」という多次元のなかで環境を考える建築家は、過剰に分化されたものの「境界」に視点を置いて近代を乗り越える知恵を担わねばなりません。市で開催する「JIA建築家大会 2014 岡山」ではの使命とし、未来への知恵を語り合いたいと思います。



公益社団法人
日本建築家協会
会長

芦原太郎

The Japan
Institute of Architects
President

Taro
Ashihara

境界を越えて豊かな地域社会の創造へ

「境界を越えて」をテーマにJIA建築家大会2014岡山が開催されます。現代社会には見えるもの・みえないもの・はっきりしたもの・はっきりしないもの、本当に様々な境界が張りめぐられています。国境という分かりやすい境界を考えると、統治するという概念からは必ず境界が登場し争いのものともなってきますが、地域で暮らす生者の立場からは様々な境界を乗り越えて繋がりを求めていくものです。経済の動向やコミュニケーションの発達により社会は大きく変化しており、パラグ・カンナが著書「ネクスト・ルスサンス」で指摘しているように、これから時代は国家が衰退する方向に向かい国境を越えた個や地域の協働の重要性が高まっているでしょう。建築空間は空間的制度として人々の生活を規定するものであり、その本質として境界は無くなることはありません。しかし伝統的な日本家屋では外部と内部の中間に開放的な廊下空間を設け、庭や自然環境と上手く統合されているように、個々の建築空間の境界を越えて現代の地域の社会や環境との統合に建築家は努めなければなりません。境界を無くすではなく、境界をいかに越えていくかが問われているわけです。建築家はそもそも人々や技術を統合し、建築づくりを通して人類がつくりだしてきた環境をよりよいかたちで統合していくことを使命としてきました。今求められていることは、生者の立場から建築やまちづくり、環境づくりを統合して安心・安全で持続可能な社会を構築していくことです。市民・行政・専門家の境界も無くすのではなく、いかに越えていくかをそれぞれの地域で工夫しながら、より良い建築・まちづくりを推進していくものです。これらの建築家は建築空間の境界を越えて、建築家職能の境界を越えて活躍していくことを確認できれば、この大会は大きな成果となるでしょう。是非、多くの皆様にご参加頂くこと大会の成功を期待しています。



大会委員長
錦織亮雄

Convener
Akio
Nishikiori

ご挨拶

皆様こんにちは。まずは、大変お忙しい中を当式典にご参列頂いたご来賓の方々に心からお礼を申上げます。そして、JIA会員の皆様の、「2014建築家大会・岡山」へのご参加を心から歓迎いたします。中国支部では、1998年に広島で「ひろしまで未来を見る」というテーマで広島で大会を開催してから16年ぶりの大会でございます。広島での大会では都市の復興や持続性社会と平和などの内容で開催し、建築家大会として「広島宣言」を採択しました。今回の大会は、「境界を越えて」・総合化に挑む建築家の使命・というテーマのもとで開催することに致しました。少し説明的ではありますが、今日の問題提起の意味を込めて決定したテーマであります。私たちの周りには、無数の境界が存在します。人類始まって以来、区画し分けられた結果です。特に近代になると、近代思想の合理的効率的な処理手段である要「場」と「時」と「物」と「人」という多次元のなかで環境を考えるのであれば、その実践的構想の中で我々を取り巻く普遍性と固有性に思いを馳せ、過剰に分化されたものの「境界」に視点を置いて、新しい統合に挑戦し、未来に向かって近代を乗り越える知恵を担わねばなりません。新たな視点を探るために、本日の基調講演では、はるばらフランスから、近代の主たる無場所性を乗り越える独自の風土論を提起されているオギュスタン・バルクさんをお招きし、「建築の再コスモス化は可能か」と題する講演をいただきます。多様な風景と歴史に彩られた瀬戸内海を望む岡山市で開催する「JIA建築家大会2014岡山」で、「細分化された対象」と「境界」に思いを駆せて頂き、未来への知恵を語り合い、どうか充実した大会を楽しんで頂きますよう願ってご挨拶と致します。

—総合化に挑む建築家の使命—

素還元により、多くの「細分化された対象」と「境界」を生み出しました。建築家は、過剰に分化されたものの「境界」に視点を置いて近代を乗り越える知恵を担わねばなりません。市で開催する「JIA建築家大会 2014 岡山」ではの使命とし、未来への知恵を語り合いたいと思います。

Overcoming Boundaries and Creating a Flourishing and Vibrant Community

The JIA National Convention 2014 Okayama is held with the theme, "Beyond Boundaries". In modern society there are things which we can see, things that we cannot see, things that are clear and things that are unclear. Truly, there is a multitude of borders which have been laid out. As an easy to understand border, national borders stem from a natural concept to rule, and can become a basis for strife. However, these borders can also be objects to be overcome by citizens, and provide for the creation of connections. Due to the trends of economies and the development of communications, society has changed significantly. As Parag Khanna pointed out in his work, "Charting a Course to the Next Renaissance", in the era to come national borders will decline as a trend, and the importance of cooperation and overcoming borders would increase. Architectural space as a space-like system makes provisions for peoples, and by its true nature is not a force for eliminating borders. However, with traditional Japanese houses, just as there are provisions in the internal and external spaces for liberal corridor spaces which skillfully integrate gardens and the physical environment; architects must work towards architecture which integrates society and the environment. Not to eliminate borders, but to make one question to what degree borders can be overcome. Originally, architects synthesise people and technology, and through construction, aimed for superior ways to integrate the borders which they had created. Now what is asked for is we construct a sustainable society that is safe and secure, from citizens' standpoint of architecture and town-building. The aim is not to remove the borders between townspeople, administrators and experts, but to drive better architecture and town-building, while providing ingenious solutions in each region. From this point forward, if architects should transcend the boundaries of architectural space and cross the borders of their working functions, then this convention shall be deemed a success. For all of us gathered here, I humbly ask for your participation to bring about this success.

map 岡山会場アクセスマップ

岡山エリア

受付場所2階 アトリウム

9/25(木)・26(金)会員登録者は
こちらで受付を済ませてください。

25日(木) 10:00~18:00
26日(金) 8:30~18:00

岡山コンベンションセンター
(ママカリフォーラム)

① JR 岡山駅
西口 ← リットシティビル
(全日空ホテル・NHK)
● ピックカメラ

路面電車『東山線』に乗車
● 岡山駅前

西川緑道公園
● 岡山高島屋

● ホテルグランヴィア岡山
(レセプションパーティ会場)

● 岡山駅南駐車場
(エクスカーション集合場所)

イオン岡山駅前店
(建設中)

53 柳川交差点

西川緑道公園

岡山中央郵便局

清輝橋線

郵便局前

岡山駅前

西川緑道公園

岡山中央郵便局

</

会場アクセスマップ



1 岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)

受付場所2階 アトリウム
9/25(木)・26(金) 会員登録者は
こちらで受付を済ませてください。

25日(木) 10:00~18:00、26日(金) 8:30~18:00
〒700-0024 岡山市北区駅元町14-1 ☎086-214-1000

2 岡山シンフォニーホール

(大会会場) ※岡山駅から1km、徒歩15分
〒700-0822 岡山市北区表町1-5-1 ☎086-234-2001

3 ホテルグランヴィア岡山 (レセプションパーティー会場)

〒700-8515 岡山市北区駅元町1-5 ☎086-234-7000

4 岡山県立美術館 (27日総合案内所)

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48 ☎086-225-4800

5 ルネスホール(旧日本銀行岡山支店)

〒700-0824 岡山市北区内山下1-6-20 ☎086-225-3003

6 岡山県天神山文化プラザ

〒700-0814 岡山市北区天神町8-54 ☎086-226-5005

map 倉敷会場アクセスマップ



① 倉敷市立美術館(旧倉敷市庁舎)

〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 ☎086-425-6034

② 倉敷物語館 (25日総合案内所)

25日(木)倉敷物語館では仮受付となります。(正式受付を岡山でお願いします)
〒710-0055 倉敷市阿知2-23-18 ☎086-435-1277

③ 旧大久保邸

〒710-0055 倉敷市阿知3-5-3

④ 倉敷国際ホテル

〒710-0046 倉敷市中央1-1-44 ☎086-422-5141

⑤ 大原美術館

〒710-8575 倉敷市中央1-1-15 ☎086-422-0005

⑥ 林源十郎商店

〒710-0055 倉敷市阿知2-23-10

⑦ 大橋家住宅

〒710-0055 倉敷市阿知3-21-31 ☎086-422-0007

⑧ 倉敷市芸文館

〒710-0046 倉敷市中央1-18-1 ☎086-434-0400

26 fri 岡山会場

ソシマンセミナー2(フェローシップ委員会)

コンベンションセンター 404会議室

引き続き行います。

ボジウム「中国地方の自然災害の特性
の歴史と予測」／東日本復興報告
やま建築5会+1まちづくり協議会／
災害対策委員会／JIA東北支部 共催)

コンベンションセンター 2階 レセプションホール

害は、地域性による物理的普遍性と、地域や歴史に依存する特殊性を併せ持ち、あらゆる災害とその被害は個性的で、常に影響を及ぼしている。長い歴史を持つ地域は、過去の災害によって多様に記憶されており、その地の災害史から学べる今後の災害対策に必要なことを考えます。災害の少ないところでは、JIA中国支部では、JIAの建築家憲章の理念にもとづき、中国地方のすぐれた建築デザインや建築文化や環境形成に寄与した建築作品を設計した建築家を顕彰する目的で、2009年にJIA中国建築大賞を創設しました。本年は第6回となり、大会式典で発表し表彰します。

資本主義の実現に向けて
オマスタウン真庭の取組みと木造建築のすすめ
・島根地域会

コンベンションセンター 301会議室
マスによる「技術」「活用」「体験」を通して、現代社会の問題認識をいただき、環境意識の向上やエネルギーの見通し具体的なヒントを見つけてください。

協力会員サミット
コンベンションセンター 407会議室

建築相談会議
コンベンションセンター 401会議室
団法人としてJIAは支部、地域会へ活動の中心を移行しようとす。建築相談室はもともと、そのようなスタンスで活動をしてきた一方、支部間の連携がとられていませんでした。今後のJIA会議の活動のあり方を協議することと、JIA建築相談室として守るべきルールの確認を行いたいと思いますので、是非ご参加をお願いします。

14:00~14:40 大会式典

岡山シンフォニーホール 大ホール

14:40~15:00 JIA中国建築大賞表彰式
審査委員長 内藤廣 氏

岡山シンフォニーホール 大ホール

JIA中国支部では、JIAの建築家憲章の理念にもとづき、中国地方のすぐれた建築デザインや建築文化や環境形成に寄与した建築作品を設計した建築家を顕彰する目的で、2009年にJIA中国建築大賞を創設しました。本年は第6回となり、大会式典で発表し表彰します。

15:15~17:00 基調講演:建築の再コスモス化は可能か
オギュスタン・ベルク 氏

岡山シンフォニーホール 大ホール

オギュスタン・ベルク（フランス国立社会科学高等研究院退任教授）1942年モロッコ・ラバト生まれ。84年から4年間、日仏会館（東京）フランス学長を務めた。長年日本に滞在し、日本の文化や風土に造詣が深く、独自の風土論を確立したフランスの著名な日本研究者。和辻哲郎『風土』を深く読み込み、人間が自然の中に刻み込まれ、両者の関係が風土そのものであるという、地理学と存在論を融合した通感的風土論を提起し、独自の「風土学」構築した。地理学、哲学、人類学、そして日本研究の分野において多大な貢献を行った。

2006年「日本の住まいにおける風土性と持続性の研究を通しての建築文化への貢献」に対して、日本建築学会文化賞を受賞。他にフランス政府より芸術文化勳章シュバリエ、第16回日本文化デザイン賞、福岡アジア文化賞大賞、国際交流基金賞など、受賞歴多数。

13:00~17:30 交流部会展示／大会関連書籍の販売

岡山シンフォニーホール 4階 ホワイエ

13:00~18:00 岡山のお土産販売／美作桧・CLTなど展示

岡山シンフォニーホール 1階 ガレリア

18:30~20:30 レセプションパーティー

ホテルグランヴィア岡山 4階 フェニックス

かつて江戸時代から、全国各地に白い帆をはらませて走る、北前船の寄港地として、岡山瀬戸内の港町下津井で歌われていた、下津井筋で皆様をお迎えします。乾杯は、釉薬を使わざ田の土を炎により焼成し、赤みの味わいや「窯変」の素朴な「備前焼の盃」で備前の樽酒で乾杯します。盃を交わしながら、昔話「桃太郎」の基になったと伝わる「温羅(うら)伝説」の中に登場する「鬼(おに)」に扮する踊り子の演舞もご覧いただき、全国の皆様と楽しい一時を過ごしたいと思います。ぜひご参加ください。

9/27 sat 岡山会場

連続セミナー①

10:00~11:40 「地方都市から世界へ」 前田圭介氏



岡山県立美術館 2階 ホール

主な作品

ホロコースト記念館(福山市)、アトリエ・ビスクドール(大阪)、森×hako(福山市)、森のみみか(尾道市)、Peanuts(福山市)、後山山荘(福山市)、群峰の森(大阪)、国際竹建築ビエンナーレ(中国浙江省)など

連続セミナー②

13:00~14:40 「建築とは哲学することである」 出江寛氏



岡山県立美術館 2階 ホール

主な作品

最高裁判所公開設計競技(佳作)、東京竹葉亭(大阪)、逆瀬台の家(西宮市)、第二国立劇場公開設計競技(佳作)、広島MIDビル(広島市)、灘月夜の家(岡山市)、かわらミュージアムプロポーザル(最優秀)、かわらミュージアム(近江八幡市)など

連続セミナー③

15:00~16:40 「作品づくりと社会貢献の両立を目指して」 坂茂氏



岡山県立美術館 2階 ホール

主な作品

紙の教会(神戸市)、ハノーバー国際博覧会2000 日本館、ニコラス・G・ハイエック センター、ポンビドー・センター メス、紙のカテドラル、アスペン・アート・ミュージアム など

13:30~16:30 第8回 建築家のあかりコンペ2014 公開審査



ルネスホール 金庫棟2階

第8回を迎える「建築家のあかりコンペ2014」は、応募資格を見直し、学生やスタッフ、及び有資格者であれば参加できるよう公共性を増したプロダクトコンペとしました。若手の建築家創出や建築を志す若者が活躍でき、JIAに入会するきっかけとなるようなコンペとしての役目を果たせばと考えています。全応募作品の展示も大会会場にて行っています。

12:30~17:00 JIA環境会議:風土に根差した魅力的な環境デザイン
住まいの省エネ基準適合義務化をみすえて

岡山コンベンションセンター 407会議室

JIA中国支部では、中国5県に造られた建築を顕彰する目的でJIA中国建築大賞を創設しています。第6回目にあたる今年度と過去の入賞作品の展示をします。

excursion エクスカーション

9/27 sat

1.直島ツアー(1日コース)

「ベネッセアートサイト直島」の中心となる直島ツアードです。地中美術館、リウファン美術館や家プロジェクトなどを巡っていただきます。

8:00~17:30

岡山→宇野港→直島→自由散策(地中美術館、ベネッセミュージアム他)→宇野港→岡山駅→岡山空港



3.旧開谷学校ツアー(1日コース)

17世紀に藩校として建てられた国宝の講堂のほか、聖廟や開谷神社などが国の重要文化財に指定されている特別史跡旧開谷学校を見学します。当日は諺語学習の体験も予定しています。昼食は瀬戸内海に臨む牛窓でのんびりと昼食をとります。

9:00~17:00

岡山→備前焼窯元→旧開谷学校→岡山空港→岡山駅
講師:施設職員



2.バイオマスツアー(1日コース)

環境意識の向上やエネルギーの見直しが注目されている昨今、豊かな森林資源に恵まれた岡山県真庭市ではバイオマスエネルギーの利用を推進しています。このツアーではその具体的な利用の仕方を見学していただきます。

8:30~17:00

岡山→真庭(バイオマスツアー)→旧選堀尋常小学校→岡山空港→岡山駅
講師:岡山郷土文化財団 万城主任
研究員ほか



exhibition 展示

9/23 tue-9/28 sun

第2展示室

第8回 建築家のあかりコンペ2014

「身体にちかいあかり」を募集テーマに全国から応募された作品の展示と過去7回の優秀作品の展示を行っています。

JIA中国建築大賞

JIA中国支部では、中国5県に造られた建築を顕彰する目的でJIA中国建築大賞を創設しています。第6回目にあたる今年度と過去の入賞作品の展示をします。

ひろしまの街づくり

カープの本拠地だった旧広島市民球場跡地はどうあるべきモデルと映像でひろしまみんひろ)を提案し、意見を問う

JIA中国支部会員作品展示

中国5県で活動するJIA中国支部会員の作品のパネル・模型を展示します。

第3展示室

日本建築大賞、日本建

日本国内における、その年度の優秀活動と業績を広く社会に伝えることを趣旨として選定した優秀建築100作品から、2013年賞した作品のパネルを展示します。

JIA新人賞

才能に恵まれ、真摯な努力を重ねて、人を表彰し、我が国の建築文化の向上に寄与することを趣旨として設けられ、2013年度、表彰された作品のパネルを展示します。

JIA25年賞

「25年以上の長きにわたり地域維持され、社会に対して建築の意義を語りかけながら、過去の遺産にけてきた建築」、あわせて「その建築した人々(建築主、設計者、施工者、及び維持管理に携わった人々)」を実施しています。今年のコンクールの様子を、金賞を受賞した作品のパネルと模型、応募全作品のパネルの展示、審査状況のパネルとビデオ上映にて紹介します。

岡山県天神山文化プラザ 第2・第3・第4展示室 9:00~18:00(最終日は16:00まで)

環境建築賞

建築家としての近未来の居住環境に対する提案を顕彰することにより、際限のないエネルギー資源の供給を前提として発展した20世紀の都市・建築・コミュニティから、2050年の低炭素社会に向けたパラダイムシフトをめざすために設けられ、2013年度、表彰された作品のパネルを展示します。

第4展示室

全国学生卒業設計コンクール2014

日本建築家協会の各支部、地域会の実行委員の活動を繋ぎながら、各地から推薦された学生卒業設計作品を一堂に集め、全国規模のコンクールを実施しています。今年のコンクールの様子を、金賞を受賞した作品のパネルと模型、応募全作品のパネルの展示、審査状況のパネルとビデオ上映にて紹介します。

